

平成21年度 シラバス 電子制御基礎 (Introduction to Control Engineering)	学年・期間・区分	1年次・前期・A群
	対象学科・専攻	電子制御工学科
	担当教員	新田 敦司 (Nitta, Atsusi)
	教員室	電子制御工学科棟3F
	E-mail	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 1単位	
週当たりの学習時間と回数	授業(100分) × 15回	
〔本科目の目標〕 電子制御工学科において学習する内容の導入教育として、メカトロニクス技術に関する基礎知識を習得する。また、Windows/パソコンおよびソフトウェアの基本的な操作方法を習得し、ネットワーク通信上のエチケット(ネチケット)、著作権について理解することを目標とする。		
〔本科目の位置付け〕 2年生以上で学習する専門系科目および3, 4年生の創造設計の基礎となる。また本校の計算機システムの利用に関して必要な知識を学ぶ。		
〔学習上の留意点〕 本科目のメカトロニクス概論は講義, 後半の情報技術基礎部分は演習が主となる。積極的に学習に取り組み、疑問点があれば、その都度質問すること。要目毎にレポートが課せられるので、その提出期限を守ること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. メカトロニクスの基本	4	メカトロニクスの概要および電子機械の構成とその周辺技術について理解し、説明できる。
2. コンピュータ技術の基礎	2	コンピュータの基礎について理解できる
3. センサの基礎	2	センサ技術の基礎について理解できる。
4. アクチュエータの基礎	2	アクチュエータ技術の基礎について理解できる。
5. 制御の基礎	2	制御の種類について理解できる。
6. Windows利用の基本操作	2	Windowsパソコンの基本操作について理解できる
前期中間試験		授業項目1~5について達成度を確認する。
7. 学生用オフィスの利用	2	学生用オフィスの使い方, 電子メール, パスワード管理, ネチケット, 著作権について理解でき, 使うことができる。
8. ワードプロソフトの利用	4	Microsoft Wordの操作方法について理解し, 文書作成を行うことができる。
9. 表計算ソフトの利用	4	Microsoft Excelの操作方法について理解し, データシート・グラフの作成を行うことができる。
10. プレゼンテーションソフトの利用	4	Microsoft PowerPointの操作方法について理解し, プレゼンテーションシートの作成を行うことができる。
	2	作成したプレゼンテーションシートをもちいて口頭発表を行うことができる。
前期末試験		授業項目6~10について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		各試験において間違った部分を理解出来る
〔教科書〕 なし		
〔参考書・補助教材〕 適宜プリントを配布する		
〔成績評価の基準〕 中間試験および期末試験成績(50%) + レポートの成績(50%) - 授業態度		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 3-b, 3-c		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕		
〔JABEEとの関連〕		